



WIMO
WIMO



wimo

組立説明書

kids

1 部品・工具の確認

付属部品・工具に不足がないかお確かめください。

間違った組立ては、事故につながる可能性があります。危険です。
組立てが難しい場合は無理せず、お近くの自転車販売店にご依頼ください。 ※組立賃はお客様ご負担となります。



付属部品 |

(a) 反射板



(b) ペダル



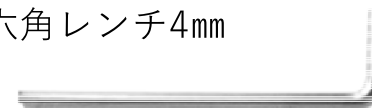
ご用意頂く 工具 |

ドライバー



付属工具 |

(A) 六角レンチ4mm



(B) 六角レンチ5mm



(C) 15mmスパナ



2 ハンドルの組立

ハンドルを、ステムに取り付ける作業を行います。



使用工具

(A)六角レンチ4mm

1

(A)六角レンチ4mmでステムの固定ネジ外し、固定部を外します。



2

ハンドルを固定部で挟んでネジ止めます。固定する際のハンドルの角度の目安は、ハンドルの湾曲部分とステムを、コラム部分と平行になるように固定してください。



3

固定部のネジは、全体が均等になるように図の順番で、少しずつ締付けします。

※均等でない場合、締付けの力が偏り破損の原因となり大変危険です。



2

ハンドル取付時の注意

ハンドルは車体に組付けられておらず、お客様ご自身で取り付けを行っていただく必要があります。

ハンドル取り付けの際には下記の項目に注意をしながら取り付けを行ってください。

フォークの向き

- 正) ブレーキが前に来る向き
- 誤) ブレーキが後ろに向いている

ハンドルの左右および向き

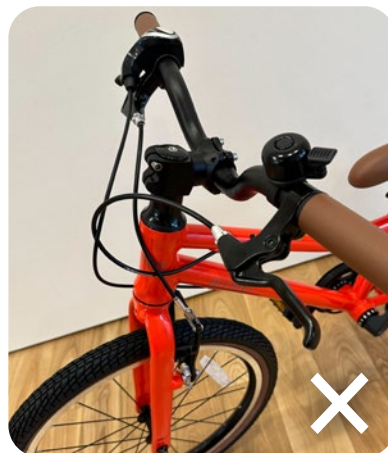
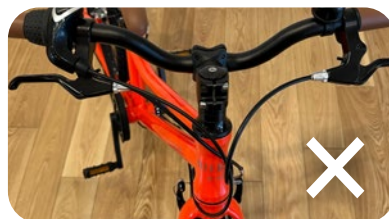
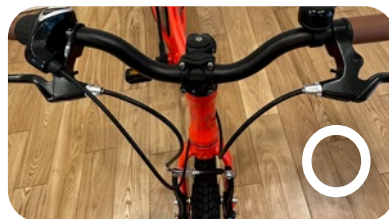
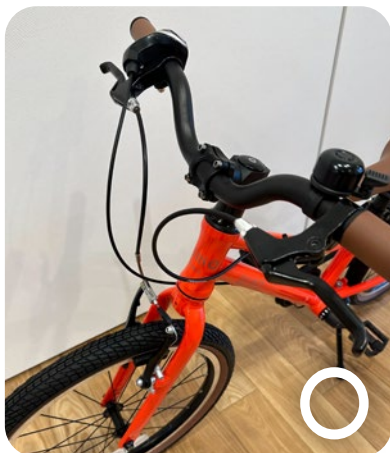
- 正) 乗車中に変速機を右手で操作することができる向き(ブレーキレバーが前に来ている)
- 誤) 左手側になっている(ブレーキレバーが前に来ていない)

正しいハンドルの取り付け位置は下図のような配置です。ワイヤー同士が交差する、フレームに巻き付いている場合は正しい配置になるように調整してください。



ワイヤーの位置

- 正) 写真手前から、変速→前後ブレーキワイヤー(向かってフレーム左側から出ているケーブルは変速と右手用ブレーキ)
- 誤) ケーブルが逆になっている、またはフレームに巻き付いている状態



もしハンドル固定時に異なったワイヤーの配置となった場合はフォークが正しい方向から180度または360度逆に回してしまっていたり、ハンドルがねじれている状態であったりする可能性があります。すでにハンドルを固定してしまった場合は、一度ハンドルを外し必要に応じて再度取り付けを行ってください。

3

ブレーキレバーの調整

ブレーキレバーを握りやすく調整します。



使用工具

(B)六角レンチ5mm

1

ブレーキレバー固定ネジを(B)六角レンチ5mmで緩めます。



2

ブレーキレバーが地面から垂直になる位置を基準に、左右ともに角度を45度程度に調整します。



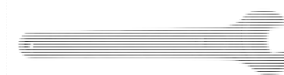
3

ブレーキレバー固定ネジを締めます。
※事故の原因となりますので、調整後は必ずブレーキレバーの固定ネジを締めてください。



4 ペダルの組立

ペダルを組み立てます。



使用工具
(C)15mmスパナ

1

ペダルの左右を確認します。
図の位置にギザギザが付いているペダルが左、ないものが右です。
※ネジを回す方向が異なりますので、必ずご確認の上、取付をお願いいたします。



2

左ペダルから取付けます。
手でペダルのネジ部をネジ穴に差込んで止まるまで左に回します。
最後にペダルのネジの付け根を(C)15mmスパナで左回しで固定します。



3

右ペダルも同様の手順で右回しで固定します。
※ネジ穴の破損を防ぐ為、必ずスパナは最後に使用してください。



5 反射板の取付

反射板の装着は法律で義務付けられています。



使用工具
プラスドライバー

1

反射板はハンドル右側の固定部横、
または、右ブレーキレバーの少し内
側にプラスドライバーで取付けてく
ださい。



6 各部チェック

組立完了後、各部の固定・動作チェックを必ず行ってください。



車輪をしっかりと両足で挟んで固定した状態でハンドルを両手で持ち、強く左右に捻ってみてください。

ステムが動く

ステムの左右二か所にあるネジをそれぞれ、(B) 六角レンチ 5mmで右に回して固定します。



ハンドルとブレーキレバーを一緒に握っている状態で上下に強く捻り固定できているかを確認してください。

ハンドル・ブレーキレバーが動く

いずれもネジが緩んでいる可能性がありますので、(B)六角レンチ5mmで締め増しして固定してください。

※固定後はブレーキの動作確認を行ってください。



6 各部チェック

組立完了後、各部の固定・動作チェックを必ず行ってください。



ブレーキレバーを握ってブレーキを掛けてみる

ブレーキレバーがグリップに当たるくらい深く握れる

アジャスターネジを緩めるとブレーキの握り加減が固くなっていきます。ブレーキを握り始めて1/3辺りでブレーキがかかる程度に調整してください。



右ブレーキレバーをゆっくり握ったり、開放したりしながら前車輪に当たるブレーキゴムの動きを確認します。左も同様に後車輪を確認します。

左右のゴムどちらかが先に当たる

ブレーキのバネの張りが片方だけ強くなっています。ブレーキレバーを握ったり開放したりしながらネジを少しずつ緩めて同じタイミングでゴムが当たる様に調整します。

